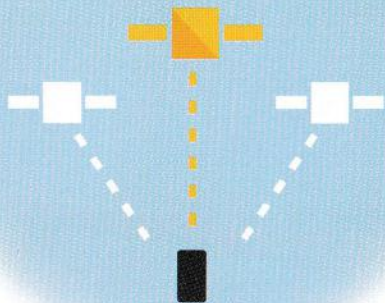


国産衛星みちびき 対応しています

QZSS

QZSS 対応の GPS 発信機は GPSnext のみ

(2015 年 2 月弊社調べ)



国産衛星みちびきって？

2010 年 9 月 11 日に打ち上げられた、準天頂衛星の初号機。GPS (全地球測位システム) を補完・補強するための衛星測位システムの一つ。これに続けて、あわせて 3 機の衛星を運用し、山間地、ビル陰に影響されず全国をほぼ 100% カバーする高精度の測位サービスの提供を実現することを目指している。

精度を高めることができる！

従来の GPS 端末は GPS (アメリカ) のみまたは GPS+GLONASS (ロシア) の衛星から位置情報を取得していました。準天頂みちびきからの位置情報も取得することで飛躍的に精度を高めることができます。現在日本時間 3 分の 1 をカバーします。

精度表記は 1m から

GPS のズレの範囲を計算し、1m 単位で表記します。従来製品の 50m ~ 100m ほどは異なり、ズレの範囲の信頼性が増します。
※実際の範囲より少し大き目に表記するように設定しています。

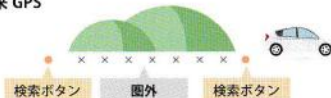
住所は詳細まで表示

国土交通省のデータに基づき番地までの表記を参照しています。従来は ~ 丁目付近までの表示でしたが、GPSnext は ~ 番地までを表示します。

ピンチに強いロガー機能

通信環境が悪いと、位置の取得命令を行えず数時間に及ぶ空白が生じてしまう従来型 GPS の欠点を補い、通信環境が悪い場合は最後に指示されたモードに基づき位置情報を取得・保存する機能が搭載されています。山間部や人口の少ない地域等で効果を発揮します。通信環境が復帰した際に、履歴へ反映します。保存容量は約 2 ヶ月間 GPS を取得し続けた場合と同等分の保存容量を持ちます。

従来 GPS



途中の場所が
圏外でわからない

GPSnext



ロガー機能で位置情報を
保存し、環境が良くなったら表示される

通信の遮断された飛行機 (羽田空港 ~ 福岡空港) の履歴

飛行機での GPS テストの結果です。飛行中はロガー機能が発動して、位置情報を保存し、着陸後に飛行中の位置情報が表示されました。

